

STEM REPORT Science English, Science & Talk

2023.3.10 FRI

3月10日（金）5, 6限、理数科1年生 総合英語の授業として

自然科学研究機構外国人研究者による授業③「サイエンス・イングリッシュ」を実施しました。

すべて英語の授業、理数科1年生にとっては初めての体験です。

基礎生物学研究所 金恩哲（KIM, Eunuchul）先生に、ご出身の韓国と日本の違い、小学生から博士号を取るまでの間に学問とどのように向き合ってきたか、そして「葉緑体タンパク質の光強度と構造との関係」についてたっぷりと語っていただきました。植物には、大きさ26nmほどの集光タンパク質があること、光の強度によって集光タンパク質の構造が変わるがその理由は分かっていないこと、光が強すぎると活性酸素が発生し植物体が傷ついてしまうこと・・・生物の授業の先を見据えた2時間となりました。



KIM 先生には授業後にも「サイエンス&トーク」にて、英語部と希望者として集まった生徒にご指導いただきました。K-POPや韓国の国民性、日本の素晴らしいところなどを語っていただき、知的欲求を喚起される時間となりました。先生、ありがとうございました。

受講生の声：取り込みすぎた光エネルギーは熱エネルギーに変換される。あえて光合成を行わないのは何かの理由があるわけだから、それを知りたい。いくつか資料を集めてみたが、すべて最近の論文だった。今、盛り上がっている分野なのかもしれないと思った。「現在の科学はさまざまな分野の知識を組み合わせ、解決に向けてどのようにアプローチするかは研究者の個性が出る」という多くの先生方の話と同じことを KIM 先生もおっしゃった。自分も分野にとらわれず、自分の知りたいことを追い求めていきたい。単語帳に出てきた単語だ！と思ったものもあった。難しかったが、できないわけではないとも思った。まずは、春休みの Global Studies Program に向けて勉強する。